

2025年8月8日

## 消化器領域における穿刺治療後のプローブの消毒に関する注意

公益社団法人日本超音波医学会  
機器及び標準化に関する委員会

近年、医療関連感染の予防のため、海外ではプローブの滅菌が推奨され、高水準消毒の機器が市販されています。今後、調査、検討が必要ですが、消化器領域における穿刺治療後のプローブの消毒については本学会で定められておらず、現段階として、次のように推奨いたします。

### 記

- ① プローブカバーを装着して穿刺を行う場合は、プローブカバーを外す際に血液・体液がプローブ及び周囲に付着しないよう注意し、プローブはガーゼ、柔らかいティッシュなどを使用してゲルを丁寧に除去した後、メーカーの推奨に従って消毒を行う。
- ② プローブカバーを装着しないタイプのプローブで穿刺を行う場合は、ガーゼ、柔らかいティッシュなどを使用して血液・体液・ゲルを丁寧に除去した後、メーカーの推奨に従って滅菌処理を行う。

いずれもスタンダードプレコーションに従って処理を行う。

### 参考文献

Marketing Clearance of Diagnostic Ultrasound Systems and Transducers  
Food and Drug Administration (FDA)